

日本図書館情報学会会報

No. 203

2025 年 10 月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

相模女子大学 金井喜一郎研究室内

（事務局業務に関する問合せ先）

（株）ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号＝00160-5-0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行019店 口座番号＝当座0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

2025 年度会員集会開催のお知らせ

会長 岸田和明

2025 年度日本図書館情報学会会員集会を、下記のとおり、第 73 回研究大会の二日目に開催いたします。正会員ならびに学生会員のみなさまにおかれましては、多数ご出席いただきますよう、ご案内申し上げます。本会報には、2025 年度定例（通信）総会の投票に際して寄せられたご意見やご質問に対して、常任理事会としての考え方に基づいて回答しています。会員集会では、これらのご意見に基づく発展的な意見交換をしたいと存じます。また、定例（通信）総会の議案とは直接関係がない事項につきましても、会員のみなさまのご意見を頂戴できたらと思います。よろしくお願い申し上げます。

日 時：2025 年 12 月 14 日（日）13:05-14:05

会 場：同志社大学 新町キャンパス 臨光館 R201 教室

次 第：

1. 会勢報告
2. 2025 年度定例（通信）総会の議案投票結果報告
3. 委員会等報告
4. 意見交換，質疑
5. その他

2025 年度学会賞等授賞式

会員集会の開始前に、同じ会場において 2025 年度学会賞・論文賞・奨励賞の選考結果を発表し、授賞式を行う予定です。ならびに、学会活動に貢献された方への感謝状の贈呈を行います。ご臨席いただきますよう、お願い申し上げます。

2025 年度定例(通信)総会の投票結果

有権者数 597 (2025 年 6 月 1 日現在)

投票総数 231 (内訳：郵送投票 0, 電子投票 231)

有効投票数 231

有効投票率 38.7% (参考：2024 年度 47.9%)

無効投票数 0

第一号議案 2024 年度事業報告・事業監査報告

第二号議案 2024 年度決算報告・会計監査報告

第三号議案 2025 年度事業計画案

第四号議案 2025 年度予算案

第五号議案 2026 年度より正会員の年会費を 8,000 円から 7,000 円に変更

第六号議案 日本図書館情報学会規約の一部改正について

投票の内訳

	第一号議案	第二号議案	第三号議案	第四号議案	第五号議案	第六号議案
賛	231	231	231	231	228	231
反	0	0	0	0	3	0
白票	0	0	0	0	0	0
無効票	0	0	0	0	0	0
合計	231	231	231	231	231	231

日本図書館情報学会規約第 11 条第 1 項(正会員の 5 分の 1 以上:120)により総会は成立しました。第一号議案から第四号議案については、第 11 条 2 項(出席正会員の過半数: 116)により、承認されました。よって、全議案は成立しました。

正会員から寄せられたご意見など（回答は常任理事会による）

1) 監査の山本順一先生のお考えにとっても共感いたしました。特に②[ニューノーマルの時代に見合った組織、活動の模索―常任理事会注]については、考え方の転換が急務ではないかと感じています。私は、以前、「図書館情報学をメイン専門としない学会員の先生を学会の中枢に」という意見を書きましたが、それは検討されたのでしょうか？ 私自身それにあたるところではありますが、今年度からとある地方自治体の図書館協議会の委員になり、最初の協議会で現在の公共図書館の目指すところを質問したところ、必ずしも来館者数増を目指しているわけではないとのことでした。新しいコミュニティの場にするのができないかを考えているとのことでした。どこも同じ考えではないかと思いますが、ココに新しい図書館情報学の種が眠っているように感じました。だからこそ、多角的な検討ができるように先に書いたような形での取り組みができるとよいのではないかという考えに、改めて至りました。

(回答)

「中枢」は理事を指すかと思われませんが、当学会では理事は会員の中から選挙で選ばれています。会長

指名の常任理事を除き、常任理事も同様です。

2) 議案に明記はありませんが、『図書館情報学事典』編集委員会の業務は、2023年7月の刊行をもって一旦終了（編集委員会も解散）し、今後改訂が行われる際に改めて委員会を組織する、という形になるかどうか、念のためお伺いしたく存じます。ウェブサイトの「学会組織 役員一覧（任期：2023年4月～2026年3月）」欄には、現時点でも編集委員会の記載がありますので。また「初期キャリア研究者支援」事業については、ワーキンググループ等、学会としての組織を何らかの形で設ける必要があるかどうか、ご検討下さい。

（回答）

ご指摘のとおり、『図書館情報学事典』編集委員会は事典の刊行を以て解散しています。学会ウェブサイトの記載について、今年7月下旬に事典編集委員会の記載を削除しました。ご確認いただき、ありがとうございました。また、「初期キャリア研究者支援」事業については、継続的に検討してまいります。次期の常任理事会にも申し送る予定です。

3) 18歳人口の減少や、それに伴う大学・短大の募集停止、司書課程を開講する大学の減少を鑑みると、長期的に学会員は減少することが見込まれる。また、物価高を背景に今後学会運営経費は増加していく可能性がある。そんな中、資産が潤沢にあるからといって、一律に年会費を下げることに疑問を呈さざるを得ない。

司書課程開講大学の減少により、今後大学院生や初期キャリア研究者が専任の職を見つけるのは一層難しくなると思われる。学生に限らず専任を持たない者の年会費を下げる仕組みを設けるなど、図書館情報学界の持続的な発展に資する運用を検討すべきである。

（回答）

「定例（通信）総会の実施にあたって」の冒頭に書かれているように、「今後、物価の上昇および学会事務のさらなる外部委託のために支出が増加すること、および、学会誌の即時オープン化に伴う会員減少により収入が減少することが予想されます。そのような状況の中で正会員の会費を7,000円としても、最近5年間の学会収支を精査した結果、無駄な支出を極力抑えることで、学会の正常な運営は可能であるとの結論に至った次第」です。また、正会員と学生会員以外の個人会員の種別を設定することは難しいと思われます。そのぶん、別の方法で「初期キャリア研究者」へのサポートを考えているというのが現在の状況です。

4) 以前、遠方から参加する学生会員への旅費補助の金額が非常に少ない（自己負担額が大きい）という話を聞いたことがあります。財政的に余裕がない場合はそこだけ補助を手厚くすると不平等になってしまつてよろしくないと思いますが、現状であれば、もう少し手厚くしても良いのではないかと思います。

実際の状況というか真偽のほどを確認できているわけではありませんので、第五号議案自体に反対するものではありませんが、ご検討いただければ幸いです。

また、現在翻訳書の出版が非常に難しくなっているので（自著であれば科研費の研究成果公開促進費等を利用することが考えられますが、翻訳書にはありません）、翻訳本まで対象にした出版補助のようなものを学会が考えてくださると、大変ありがたいと思います。

（回答）

遠方から学会参加する学生会員の旅費補助および翻訳書への補助については検討いたします。

5) 初期キャリア研究者や託児サービス支援は大変よい取り組みだと思いますので、ぜひ試行の結果をいかしていただければと思います。一方、育児中の当事者としては、子供を連れての移動や宿泊の大変さや、複数の子供がいると遠慮しないとけないように感じられる人数設定を考えると、会場での託児サービスを利用できるのはごく一部の人に限られると感じます。土曜日に発表できれば、普段の保育園に預け、一部だけシッターを頼むなどして親子ともに軽い負担で済むので、発表日の希望を受け付けるということも一案ではないでしょうか。委員の方々がいろいろと考えてくださっているのはよく伝わりますが、アンケートを行いニーズを把握することをご検討いただけたらと思います。

(回答)

初期キャリア研究者への支援、および託児サービス支援にご理解、ご賛同いただきありがとうございます。いただいたご意見を検討いたします。なお、春季研究集会は現在、土曜日に開催しておりますので、春季研究集会での発表もご検討いただけたらと存じます。

6) 運営お疲れさまです。春季研究集会時に開催した「初期キャリア研究者ランチ交流会」はとても良い取り組みだと考えます。予算的な余裕があるならば、(非会員も含め) 交流を促進する事業を積極的に実施していただければと思います。

(回答)

「初期キャリア研究者ランチ交流会」に高評価を与えていただきありがとうございます。とはいえ、これは会場校からの発案で実現されたものです。今後のことは、それぞれの会場校のご協力の下に模索していければと考えている次第です。

7) 年会費の変更は有り難いですが、それで運営が可能かどうか、見通しが立つようでしたら、何よりです。

(回答)

3)の回答を返答といたします。

その他、事務局または常任理事会への激励などが 7 件ありました。

役員会等の記録

2025 年度第 2 回常任理事会（開催記録）

日時：2025 年 7 月 19 日（土）13:00～14:40

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田、三浦、小山、浅石、須賀、金井、大場（記録）

欠席者：呑海

1. 定例（通信）総会結果の確認
2. 各委員会等に関する報告・協議事項
3. 今後の活動

2025 年度第 3 回常任理事会（開催記録）

日時：2025 年 10 月 4 日（土）9:00～10:05

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，小山，浅石，須賀，金井，大場（記録）

欠席者：呑海

1. 各委員会等に関する報告・協議事項
2. 2023 年度会員集会の次第整理
3. 2023 年度第 2 回理事会の議題整理
4. その他

委員会・事務局より

2025 年度の会費納入について

2025 年度の会費払込用紙は 6 月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお願いいたします。

未納会費の納入について

2024 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2023 年度までの会費を未納の場合は、2024 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を 3 年滞納した会員（学生会員は 2 年）については、その年度末（3 月 31 日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また、会費を 1 年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は、機関誌の配付を一時停止します。

そのほか、学生会員で 2025 年 4 月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が 2,000 円から 8,000 円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号＝00160-5-0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号＝当座 0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

（事務局）

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の 4 月 20 日ま

で事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意下さい。

（事務局）

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。（編著者名の五十音順）

- 池内有為，木村麻衣子 責任編集『「メタデータ」のパースペクティブ』勉誠社，2025
- 伊藤真理，鳥海恵司 著『音楽資料目録入門：NCR2018による記述の実際』樹村房，2025
- 大場博幸 著『図書館の公的供給：使命・利用者・利用料』樹村房，2025
- 嶋田学，伊東直登 著『図書館を経営するということ：教育・文化・産業をつなぐ地域づくり』青弓社，2025
- ビアウア・ヤアラン 著，根本彰 訳『知識組織論とはなにか：図書館情報学の展開』勁草書房，2025
- 松井健人 著『大正教養主義の成立と末路：近代日本の教養幻想』晃洋書房，2025
- 未来の図書館研究所 編『図書館と居場所』（未来の図書館研究所調査・研究レポート第8号）未来の図書館研究所，2025
- 山本順一，前川和子，松戸宏予 編『これからの図書館情報学：人工知能と共生する図書館』有斐閣，2025
- 雪嶋宏一，須永和之 編著『学校図書館概論』勉誠社，2025
- 和田敦彦 著『戦下の読書：統制と抵抗のはざままで』講談社，2025
- 和田敦彦 著『読書調査の歴史と資料：戦前・戦中』樹村房，2025

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）